

2022
vol.32

ソフィールNEWS
TOPICS

第12期 ソフィール協会研修会を開催します

秋

ソフィール協会の研修会を開催します

今年の秋の研修会は3年ぶりに対面形式で開催いたします。
今年の11月1日にオープンする予定の「なるせ自然共和国」にて新たに設置したミニソフィを見学いただけます。当施設は自然や生活の「循環」をテーマに、未来を生きることもたちに自然豊かな環境や、そこから学べる体験を提供する素敵な場所です。



なるせ自然共和国HP ▶



【開催概要】

日時:2022年11月17日(木) 15:00~16:00

場所:「なるせ自然共和国」三重県津市河芸町三行430

移動可能な循環水洗型トイレ“ミニソフィ”とは？

ミニソフィは汚水処理処システムと多目的トイレを一体化した移動可能な循環型トイレです。
20フィートのコンテナ内に循環型汚水処理システム(ソフィール)をコンパクトに収納することで「ゆったり」「広々とした」トイレ空間を創出しました。車いす利用者、高齢者、小さなお子様連れの方などに安心して使っていただける多目的トイレです。



詳しくは動画をご覧ください
※音が出ますのでご注意ください



雨水貯水・活用システム“アメリカ”とは？

アメリカはタンク内に雨水を貯水し、微生物で水質を浄化・維持するシステムです。
整雨レベルIV(洗面・シャワー・風呂利用できるレベル※国土交通省雨水の利用推進に関するガイドライン)を目標水質とし、綺麗な雨水はトイレ洗浄水や植物の散水、洗車水、クーリングタワー補給水、災害用非常用水など、さまざまな用途で有効活用できます！



【浄化技術】立命館大学 久保教授発明の特許技術(アルコ㈱が実施許諾契約済)

詳しくは動画をご覧ください
※音が出ますのでご注意ください



世界に伝えたい！
約4分の動画公開中！



ソフィールの納入事例
随時更新中！



アルコ㈱のホームページで最新の施工事例を随時更新しています！用途別の納入事例もご紹介していますので、是非ご覧ください。



ソフィール 実績 検索

ソフィール協会

三重県津市藤方2254番地1(アルコ㈱内)

TEL 059-213-8811

FAX 059-213-8880

URL <http://sofil-kai.net/>

MAIL info@alcoinc.co.jp



新しいHPが
できました！



ソフィール NEWS

2022.10 vol.32

全国231カ所に導入
環境型トイレ浄化槽

SUSTAINABLE GOALS
DEVELOPMENT

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



特集

最新の納入事例「御嶽山ビジターセンター」

TOPICS

第12期 ソフィール協会研修会を開催します

秋



長野県「御嶽山」

環境技術
実証事業
ETV 環境省
本技術は第三者による性能の実証結果を
公開しています。
<http://www.env.go.jp/policy/etv/>
自然地域トイレし尿処理技術分野
平成30年度 実証事業 (No.039-1802)
平成 年度 実証事業(No.039-1802)

特集 最新の納入事例
PRODUCTS
長野県立御嶽山ビジターセンター
「やまテラス大滝」

ソフィール循環利用が
採用されました！

長野県立御嶽山ビジターセンター「やまテラス王滝」

長野県立御嶽山ビジターセンター「やまテラス王滝」は2022年8月にオープンした「火山と自然の情報館」で、平成26年の噴火災害を契機として設置されました。御嶽山王滝口の七合目、現在の王滝登山口に位置し、活火山である御嶽山に登る前には火山活動や規制の状況を確認しながら登山計画書を提出する場になり、下山後には一休みして山を振り返る場になります。また、現地は全国的にも数少ない標高2,000mを超えるところまで自動車で行ける場所で、センターでは周辺に生息する動植物の紹介を通じて県立自然公園の魅力をお知らせしています。



ビジターセンター外観



ビジターセンター外観



ビジターセンター展示



御嶽神社 鳥居



現場から見る御嶽山



一次処理槽 施工中



土壌浸潤槽 施工中



一次処理槽 完成



土壌浸潤槽 完成

DATA

場 所：長野県木曾郡
王滝村田の原3162
施工年月：2022年7月
人 槽：257人槽
汚水量：12.4m³/日
発注者：長野県
仕 様：処理水循環利用

採用の経緯

基本設計に「自然公園施設のRE100を推進」とあること、「冬季閉鎖施設」での山岳トイレの過去の採用実績（富士山御殿場口新五合目）があったことから、処理水を再利用でき、利用者数の変動に左右されず水質を保てる土壌微生物膜処理システム「ソフィール」が採用されました。販売代理店である株式会社本久のご担当者様には提案段階でたくさんのご協力をいただき、採用の運びとなりました。



▲ 本久HP



ビジターセンター展示

土壌微生物膜合併処理浄化槽“ソフィール”とは？

ソフィールは環境に優しい汚水処理システム『土壌微生物膜高度処理浄化槽』です。わずかな消費電力で高度な汚水処理ができ、維持管理が容易でランニングコストが安く、利用者の変動が大きい施設でも安定した処理を行えます。処理水を循環利用することにより防災対応型トイレとしても利用可能で、放流先の無い場所や環境に配慮したい場所にも最適な浄化槽です。



◀ 環境省 平成28年度環境技術実証事業（ETV事業）
自然地域トイレし尿処理技術分野の実証試験を実施しました

